

2022

夏

NEWSLETTER

宮崎市国際交流協会



■ 編集・発行

宮崎市国際交流協会

〒880-8505

宮崎市橘通西1丁目1番1号

TEL 0985-21-1719

FAX 0985-21-1733

HP <https://www.miyazaki-mcia.jp/>



みやざきインターナショナルフェスタ～ワールドテラス～当協会のブースで、インド人留学生（右）に日本語会の説明をしている宮崎バングラデシュ協会の会長さん（左）

国際フェスタ 出展



6月12日（日）宮崎中央公園にて、宮崎青年会議所主催の「みやざき国際ショナルフェスタ〜ワールドテラス〜」が開催されました。当協会では韓国料理教室の実施とブース出展の両方で参加し、料理教室ではチヂミとトッポキを作りました。ブースの方では、宮崎バングラデシュ協会の会長さんと副会長さんに、自国と文字の紹介をしてもらいました。同テント内では佐土原町国際交流協会が折り紙と佐土原の神代独楽（じんだいごま）を紹介しており、多くの方にご来場いただきました。



①③④協会のブースが賑わっています。
②神代独楽で遊ぶ来場者。（独楽見えますか？）
⑤料理教室で調理したトッポキ。好評でした！



⑥清武町国際交流協会ではフェイスペインティングがありました。
⑦⑨JET青年のブースには多くの人が集まり、英語で話すひと時を楽しんでいました。
⑧フィリピンブースでは、文化紹介で一緒にダンスを踊る場面がありました。



5月中旬、昨年度こそだてcaféに参加してくださった方を招いて、今年度のこそだてcaféについて一緒に考える話し合いの場を持ちました。その結果をふまえて、6月末今年度第一回目のこそだてcaféを宮崎大学木花キャンパスにて開催し、留学生やそのご家族の方3家族計10名の方が来られました。

今後7月16日（土）に「こそだてcafé 浴衣体験」（既に定員に達しました）を予定しており、秋には子育て支援センターとの共催イベントを企画中です。一時間半の短い間ですが、市内在住のお母さん方がおしゃべりを楽しむ場を提供していきます。

託児ボラ募集してます！

こそだてcaféでは、参加者のお子さんの託児をしてくれるボランティアさんを随時募集しています！興味がある方は協会までご連絡ください。0985-21-1719



中国の今！

“絶命臭粉 螺蛳粉”

コロナ禍、人々の心を魅了する「絶命臭麵～タニシ麵（ルォスーフェン）」



領土が広く多様な食文化がある中国には、「特色地方小吃（特色のあるご当地グルメ）」がたくさんあります。近年、人気ご当地グルメのインスタント商品化が進み、全国どこでも食べられるようになりましたが、中でも広西チワン族自治区柳州市で生まれたタニシ麵が一番人気です。

タニシ麵は、米粉で作った麵に、酸筍（発酵タケノコ）・落花生・揚げ腐竹（中国式乾燥湯葉）・酸長豆（発酵長豆）・キクラゲ・うずらの卵・青菜等をのせて食べます。タニシ自体は入っていません。タニシを長時間煮だして作る濃厚で独特の臭みを持つスープですが、酸辛味に調味してあり、一度食べたらヤミツキになるコクのある味で知られています。初めて食べると、スープの臭みに挫折する人が多いとのことですが、最初が無理でも、2回目、3回目と続けるとハマってしまうと言われています。

このタニシ麵が生まれた広西チワン族自治区柳州市では、昔から人々の食卓にタニシと米粉がありました。そして、1970年代にタニシ麵が食されるようになり、2021年には国家級無形文化遺産の殿堂入りを果たしました。この殿堂入りを後押ししたのは、他でもない新型コロナウィルスの感染拡大でした。2020年以降、巣ごもり消費が増えるに連れて、タニシ麵の消費量も大幅に増加し、今やインスタント食品の中では、ラーメンに次ぐ人気商品となっています。最近では、東京に専門店も出店し、ネット通販でも購入できます。（中国語ですが、タニシ麵の動画もおススメです！→）



令和4年度 宮崎市国際交流協会 理事会・総会を開催しました

去る5月27日（金）、宮崎市民プラザにおいて、令和4年度宮崎市国際交流協会理事会・総会を開催しました。当協会の新会長である鮫島浩宮崎大学学長の挨拶で開会した後、昨年度の実績・決算、及び今年度の計画・予算について審議をはかり、続いて、会長の選任及び役員承認がされました。会員の皆様には、ご多忙のところご出席いただき、ありがとうございました。



自治会の回覧板で 協会のチラシがきます！

市内の自治会宛てに当協会のチラシを配布します。自治会の回覧板で各家庭に回る予定です。ご近所の方と協会のことを話題にしてみたいでしょうか。



姉妹都市交流パネル展 開催中

市立図書館にて協会のパネル展が7月18日（月）まで開催中です。先日はUMKテレビ宮崎でも紹介されました。ご都合がよろしければ、どうぞお越しください。



今後のお知らせ

※新型コロナウイルス感染拡大等の影響で予告なく変更・中止になる場合があります。

日 程	講 座 名 ・ 会 場	備 考
①毎週金曜日 18:30～ ②基本第1・第3日曜日 9:00～ ③基本第2・第4日曜日 9:30～	①みんなで日本語会 宮崎市民プラザ3階 ②日本語会日曜教室コロナのため休止中。お問合せください。 ③佐土原みんなで日本語会 佐土原総合文化センター	参加者・ボランティア 随時募集中
7月6日～7月18日	宮崎市国際交流協会姉妹都市交流パネル展 市立図書館	-
7月16日（土） 9:30～	こそだてcafé 浴衣体験講座 宮崎市民プラザ	詳しくは、Facebookを ご覧ください。
7月30日（土） 9:30～	日本文化体験＆ゴミの分別 《浴衣体験》 宮崎市民プラザ	
8月16日（火） 19:00～	一水空健康メソッドプレミアム講座 宮崎市青少年プラザ	先着順

編集後記

タブマネ 7 期生（2009年認定）として宮崎市国際交流協会で勤務し、累計で10年以上が経過しました。前職において、通関士として輸出入貨物の申告業務を、船舶代理店係として外国船が入出港する際に検疫・通関・船員の入出国手続き等の業務をしていました。宮崎市国際交流協会は行政、市民、外国人コミュニティ、JICAなどと連携を図りながら多様な活動を展開しています。活動に参加するきっかけはロコミの力が大きく、地域に浸透していると自負しています。

コロナ禍においては、在住外国人を対象とした安全講習会や日本の文化体験、そして留学生と自治会の人々が共に参加する清掃活動などの企画を取り入れ、地域と外国人を繋ぎ交流を促す機会に加えて環境問題、SDGsを考える場をより多く提供することを目指しています。姉妹都市である韓国・報恩郡と宮崎市の中学生との交流は、コロナ禍においてもオンラインを活用して継続しています。来年度（令和5年）は30周年を迎えます。

昨年から引き続き取り組んでいるのが「こそだてcafé」です。市内に住む子育て中の外国人住民や外国にルーツのある方が気軽に集まれる場所としてスタートし、彼らの孤立を防ぐと共に外国人と日本人の交流の場として広く認知されることを目標としています。今後は、外国人が集まり市民との交流できる場をより多く提供し、技能実習生、企業の方を繋げる役割も担っていきたいと考えています。本協会の職員はわずか4人ですが、“少数精鋭”で様々なセクターやリーダーと連携しながら工夫を凝らし、一味も二味も違うイベントや事業を企画し、外国人と日本人、外国人同士の密な関係性づくりを促進していきたいと考えています。

新里